



著者プロフィール

森賀まり（もりが・まり）

1960年6月6日愛媛県生れ

1983年 「青」入会

1991年 「青」終刊

1994年 「百鳥」入会

1996年 第一句集『ねむる手』

他に 田中裕明との共著『癒しの一句』

「百鳥」同人「静かな場所」代表

俳人協会会員

〈句集『瞬く』より転載〉〈2009年9月22日時点〉

『瞬く』（自選15句）

森賀 まり

我を見ず涙の花を見て答ふ
 秋水にオーケストラの百五人
 火に近く十一月の柱かな
 息白し河原の石を拾ふとき
 合歡の花不在の椅子のこちら向く
 瞬きに月の光のさし入りぬ
 かすかなる空耳なれどあたたかし
 山法師一つの朝に夜の来ぬ
 朧夜のマーマレードに深く匙
 家中のしんとしてゐる桜かな
 自転車に乗ればひとりや桐の花
 合歡咲いてかたき箱なる全句集
 羅の人ひとり集まりぬ
 長き根の漂ふごとし秋簾
 風鈴や庭より入る母の家